



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30~13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 247711

会 長 嶺 岸 光 吉
幹 事 佐 藤 衛 衛 男
会報委員長 川 村 徳 繁 治
小 池 正 一
西 海 藤 一
佐 海 藤 一

No. 1067 1980. 7. 29 (火) (晴) No.5

ヒシター紹介

大 峽 正 君 - 米沢 R.C
本 間 毅 君 石 黒 実 君 - 温海 R.C
半 田 茂 弥 君 - 鶴岡西 R.C

◆ ゲスト紹介

庄内分区 本 間 儀左工門君

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

会 長 報 告

嶺 岸 光 吉 君

この度、会員の鷺田幸雄君が25日付で、本部放送総局付として転勤することになりました。

逢うは、別れの初めとか申します。鷺田君は1976年に入会し、その間広報委員、ロータリー財団、会報委員、職業奉仕4年間に亘って、幅広く奉仕の理念に徹して活動されて参りました。

この度のご栄転につきましては、我々は惜別の情の堪えがたきを忍んでお別れしなければなりません。幸いにも、鷺田君は地元鶴岡の方でございます。どうか何時までも我々友達を忘れないで下さい。又鶴岡にお出の際は我々に「おい」と声をかけて下さい。4年間のご友情に対し厚くお礼を申し上げ、ご健康には充分気をつけられますよう念願致します。

尚、後任には秋田放送局より今野清一氏が赴任されます。この方も鶴岡出身の方で早速入会の手続きをとりたいと思います。

尚、鷺田君の出発は30日15時43分いなほ6号で出発されます。

幹 事 報 告

佐 藤 衛 君

1. お隣り254地区年次大会のご案内がまいっております。
10月4、5日の土、日 八戸クラブをホストに行われます。
4日のシンポジウムはロータリーの発展をめざして
5日の記念講演は植村直己氏の「冒険ということ」というテーマでございます。
参加ご希望の方は事務局迄。
2. 遊佐R.C 8月5日(火)の例会を ゆかた例会の為、同日午後7時点鐘に変更になります。
場所は遊佐町商工会。登録料は¥2,500円です。
3. 酒田R.C・酒田東R.C例会変更
酒田クラブ8月6日、酒田東クラブ8月7日の例会はインターアクト年次大会の為、合同例会として8月5日(火)ホテル・サンルート 午後5時30分点鐘変更になります。

◆ 鷺田幸雄君の退会ご挨拶

只今会長から身に余るご紹介をいただきましたが、7月25日付けで東京に赴任することになりました。東京での仕事は放送総局付ですが、担当するのはNHK文化センターです。NHKの外廓団体で株式会社です。40の教室で200以

上の講座を持っています。政治、経済、芸能、スポーツ等で現在8,000人の受講者があると聞いています。

4年間を振り返るとロータリー入会以来、皆様のご温情あふれるご支援をいただいで過ごして参りました。懇親会やミーティング、たら汁会等本当に懐しく走馬灯の如く想い浮かんで参ります。

鶴岡出身でご座いますので鶴岡を愛し、この土地に来たからにはNHKの仕事を通じ一生懸命、故郷の為に少しでもお役に立ちたいと努力して参りました。

私のあとに今野清一君が参りますが私同様ご支援の程お願い致します。

東京砂漠に行きましても、いつも美しい故郷を忘れずにしっかり仕事をやって行きたいと思っています。

これ迄のご厚情にあらためて感謝申し上げてお礼の言葉といたします。

このあと会長より鷺田君にこれ迄の友情を感謝してささやかながら記念品の贈呈がありました。

◆ 第253地区年次大会に出席お願い

米沢R.C 大 峽 正 君

6月迄直前会長でありましたのでI.C.M地区協議会のクラブの責任者でありました。不なれでしたので一生懸命やったつもりですが、今考えて見ますと各クラブさんには不行き届きの点が沢山あったと思いますのでお詫び方々お礼やらお願いに参りました。

年次大会を開催するにはお金がかかりますので出来るだけ多くの会員から出席していただかないと破算してしまいますので、多勢の方から登録して貰うようお願いして来いと現会長、大会委員長、大会幹事の私に対する命令でご座います。

ホストクラブとしてこれ迄10回以上も会合を重ねて失敗のないよう関係者一同大いに勉強し努力している次第です。

今迄の大会は2日に渡りましたが2度目になると大半の方がお帰りになってしまうので、ガバナーのお考えもあって今回は思い切って1日だけに濃縮する事にしました。プログラムにご案内の通り9月26日はサンルートで会長・幹事会ですが、本会議は9月27日(土)1日で、ソングリーダーに藤山一郎氏を招き、午後からもアトラクションに出演していただく事になっています。午後1時からのシンポジウムに、は国際ロータリー理事の松平一郎氏、又文芸春秋の社長千葉氏、東京女子大の伊藤善一氏のお話があり、記念講演は「酒」の編集長佐々木久子さんの「心豊かな生き方を考える」を予定しています。

以上のような計画です。何か皆様のお役に立てばと考えています。

お申込みは7月25日で、すでに過ぎていますが本登録には多勢の方々のご参加をいただきたくお願いに参りました。

◆ 分区代理ご挨拶

分区代理 本間 儀左工門氏

1. 分区代理就任のあいさつ

(イ) あいさつ

(ロ) 分区代理とは

(1) 一定地区内におけるクラブとガバナーとの連絡員として、非公式なガバナー代理

(2) 地区における R.I の役員はガバナー 1 人。分区代理は何の権限も有しない。

(3) 風のしっぽの又しっぽが分区代理である。(浜田ガバナー談)

2. 10年を経てロータリーの奥行の深さを痛感—特に職業奉仕について唯一— 職業奉仕について思い出す感銘深い事。

[参 考]

(1) ロータリー綱領第二

『実業及び専門職業の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が職業を通じて、社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること。』

(2) 『職業奉仕とは、能力の限りをつくし、最高の水準の道徳的行動によって、貴君の仕事の責任を果たすために、時間を捧げることであります。』

(1980～1981・地区協議会プログラム P—2)

(3) 昭54.10.13喜多方年次大会におけるシンポジウム『ロータリーは進む』の中での神守源一郎氏の発言。

「職業を繁昌させて、その利益を社会のために還元して奉仕することは、社会奉仕であっても、職業奉仕ではない。会員一人一人の日常活動こそがロータリー運動の本質である」と諭された。

(4) 昭55.6.15 米沢地区協議会における浜田ガバナーのあいさつより。

佐原直前ガバナーの立派さ(葬儀のときの婦長さんの弔辞より)

(イ) どんなときでも往診を断ったことがない。

(ロ) ズボンはくのに大変難儀されておられたが、決して人手を借りなかった。

(ハ) 夜おそくまで書齋にて、往診のために待機されておる日常であった。

3. 私達サービス業に、これを適応させて考えてみる。

(1) 入谷の『魚直』江戸時代から続いたふぐ料理屋。2時間も待たされるのが普通。

(イ) 料 金

東京 はせ川 2,800円～3,000円 ふぐちり 1,000円、白魚さしみ 500円

浜 作 1,800円～2,000円

すずき塩焼 400円、 かに(はさみ 4 本) 400円

ビール 2 本飲んで満腹して一人3,700円～4,000円

- (ロ) 店がまえ 2間間口 平屋トタンぶき 柔道だだみ 猫4匹
施設に極端なまでに金をかけない。
- (ハ) 家族労働 子供(学生)はそこでアルバイト
- (ニ) ビルを建て、拡張しない。
- (ホ) 庶民の味を守る。「魚直」を愛するお客様への奉仕
- (2) イタリーのミラノのある靴屋 紅林茂男氏講演
 - (イ) 日本からの融資を辞退して、大量生産を拒否しつづけた靴屋さん。
 - (ロ) 自家商品への自信とプライド。
 - (ハ) 顧客の増大に規模を合わせてゆく配慮。牛どんの吉野家との根本的な相異。**Small is Beautiful!**とは思っていないが。
- (3) 越の寒梅 亀田石本酒造
本当にお酒の味のわかる人に飲んで頂きたい。
- (4) 高勢 すし 根岸柳通り 若社長東京一高いが、ねうちが解って頂ければよい。
- (5) ベンツ 西独 国内注文 1年10ヶ月待つ。輸出 6ヶ月で外国の需要家へ

以上で共通していることは、

- (1) 自己商品への自信と職業へのプライド。
 - (2) お客様への謙虚な奉仕精神。
4. 80年代こそロータリー精神で企業を、そして利益概念を見直してみる時。
- (1) 松下幸之助氏の利益観

企業は社会に貢献すべきもの。利益は社会への「役立ち料」

[参考]

企業が社会に対しその使命を遂行し、社会に貢献した報酬として、社会から与えられるのが商正利益だと考えられる。だから利益なき経営は、それだけ社会に対する貢献が少くその本来の使命を果たし得ていないと云う見方もできるといえよう。

松下幸之助「実践経営哲学」P33～35

- (2) (Max Weber) マックス・ウェーバー (1864～1920) は初期資本主義の発展の精神的構造にプロテスタンティズムの光をあてて透視した。『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』

[参考]

「使命としての職業意識があったからこそ、利潤の追求が道徳上賞讃に値いするのみでなく、義務たる生活態度になったのであり、一生懸命に働いて利潤を生み出していくことが、結局は神につながる道である云う価値観が確立されたのである」

『変革の透視図』 堤 清二著 P61～62 一流通産業の視点一

- (3) 不透明の時代、不確実性の時代こそ、吾々ロータリアンは、ロータリー綱領第二の「職業奉仕」の神髄からもう一度自己の企業観・利益概念を見つめ

なおして見る必要があるのではなからうか。

5. 浜田ガバナーについて一生懸命勉強してゆこう。

(1) “Take time to serve” 会長 Roef・J Klwtiict

(2) 一隅を照らすもの邦の宝なり

比叡山 延暦寺 根本中堂 最澄の書（伝教大師）

SMILE BOX

① 森田清治君 7月22日男子の初孫さん誕生。

② 鷺田君の送別会するとき

2次会をやった人達からで2次会々計の余剰金をスマイル。

③ 米沢R.C 大峽 正君。

④ 分区代理 本間儀左工門君。

⑤ 鷺田幸雄君 退会スマイル。

⑥ 内山喜一君 株式会社内山ふみや書店創業30周年記念。

出席報告

本日の出席	会員数	70名	欠席者	秋野君、石原君、板垣(俊)君、板垣(広)君、金沢君、三浦君、野村君、佐藤(友)君、高橋(耕)君、渡会君
	出席数	60名		
	出席率	85.71%		

前回の出席	前回出席率	76.06%	メイクアップ	風間君一仙台R.C 横田君一遊佐R.C 秋野君、飯白君、黒谷君、中野君、佐藤(友)君、鈴木(弥)君、手塚君、上野君、吉野君 一鶴岡西R.C
	修正出席数	64名		
	確定出席率	91.43%		